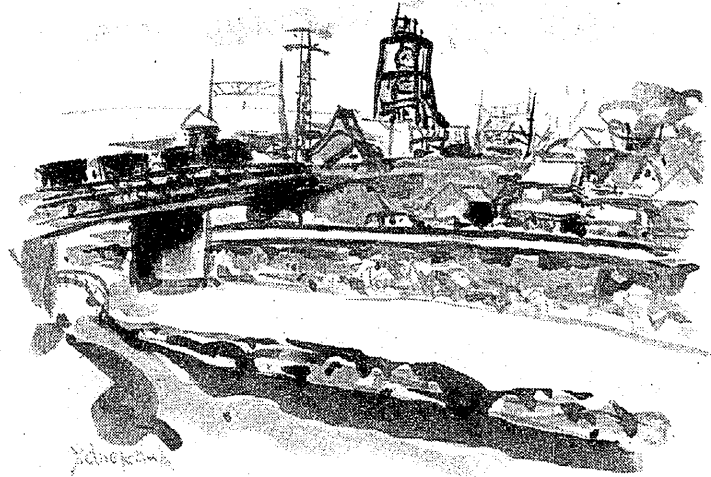


三池のあしあと



馬込川

画 姉川良男

諏訪川の上流、通称馬込川を横切る炭鉱線路附近から宮原立坑をのぞむ。宮ノ原立坑(当時の呼称)は揚炭、入気、排水を目的として明治三十一年三月に開坑されたが、別に人馬昇坑用の立坑(第二立坑)があった。



決して楽な生活ではありませんでした。そして本社への抗議、三池の組合の分裂で差別による低賃金もひどいものでしたが、低賃金に耐えてがんばりました。

主人の退職

荒尾ブロッコ 坂田 スミ子

今朝、ふと目を覚まし枕元の時計を見ると、もう六時をまわっています。寝過ぎたかと思ひ、あわてて飛び起きて炊事場へ――

顔を洗いながら、「あお主人は四月で定年だった」と気づき、思わず苦笑しました。

朝ご飯の仕度には早すぎるのでコタツに入っていると、主人と結婚してからの出来事が走馬灯のように思い出されます。

配転し、やっと坑内の仕事になった頃炭塵大爆発に遭い、九死に一生を得たものの閉鎖生活が長い間続きました。

またまた低賃金での苦しい生活

ある日突然、主人が坑内に下がる言ひ出しがびっくりしました。

体も十分回復してないのにと思ひ反対しましたが、一度言ひ出したら頑として聞き入れませんので一杯の応援をいたします。

心配しながらも、体がもたない時には何とかなるだろうと思ひ、結局現場復帰に同意しました。

出勤し始めた頃は、会社から電話がかかりはしないかと不安な日々が続きましたが、組合や同僚の方々の温かい協力のおかげで大した怪我もなく、無事に定年退職できましたことを心から感謝しています。

石炭産業をとりまく情勢もますます悪くなり、三池でも四山鉱の閉鎖や希望退職の募集などの合理化が出来るようですが、「石炭守れ」「合理化反対」のたたかいでがんばって下さい。私たちが精一杯の応援をいたします。

「つわの花合唱団」の四回目

荒尾地区メーデー前夜祭



四月三十日、午後五時三十分から荒尾地区メーデー前夜祭が労働会館で開かれ、折からの雨天にもかわらず約百五十八人の仲間が参加しました。

今年は一月の市長選挙につづき、三月から四月にかけての統一地方選挙の直後で、各単産とも十分な準備もできなかったと思ひますが、地区労働推薦候補者の全員当選という喜びの中で、盛り上がった前夜祭となりました。

決意をこめた構成劇に、心からの激励の拍手が送られました。会場からも、坂本市議が石炭問題や農業問題、売上税導入、マル優廃止など、中曽根自民党内閣の横暴を許さないために、地方議会の中で闘っていきたい、共に頑張ろうという連帯と激励の言葉が聞かれました。

主婦会統一行事の案内

とき 五月二十四日(日)

ところ 山鹿簡易保険センター
山鹿市志々岐の上二四五〇

TEL 09684・3・5121

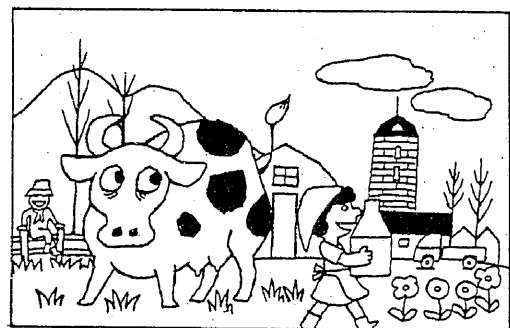
交通 荒尾市営バス

緑ヶ丘小学校前 八・三〇(荒尾労働会館前)大牟田郵便局前(勝立)山鹿 帰路は逆コース。

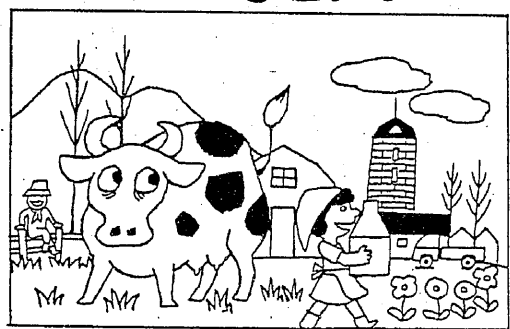
会費 三、五〇〇円

行事 ゲートボール交流、昼食、交流、入浴。

※ かわしいことは事務局へお問い合わせ下さい。



7つのまちがい



<問題>下の絵は上と7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。(印刷のよごれはまちがいははけません)答えは4面別項に。

出題・西山 進

三池闘争25周年記念出版

「三池闘争」の記録

A4版654頁 頒価5,000円(送料400円)

(申込先) 元組員には割引がありますのでお問い合わせ下さい。

〒836 福岡県大牟田市入船町1番地

三池炭鉱労働組合 ☎0944(53)3033~4

—内容—

- 刊行のことば
中原一・三池労組組合長 黒川武・総評議長 橋本亮・炭労委員長 太田薫・元総評議長 岩井章・元総評事務局長 原茂・元炭労委員長 佐伯静治・総評弁護団団長 久保田武己 元三池労組副組合長
- 機関紙「みいけ」(縮刷)
1959年8月2日号(第585号)~1960年12月18日号(第653号)
- 「日刊情報」(縮刷)
1960年1月30日号(第1号)~1960年12月8日号(第270号)
- 写真集「たたかいの中から」
- 年表 ●たたかいの歌